

### 新型コロナウイルスに対し 今、私達に出来る事

新型コロナウイルスが世界的に大流行する中、国を挙げたの感染拡大防止対策が講じられていきます。しかし、依然としてその勢いは止まず、事態が収まる見通しが立っていません。

本部でも、3・4月の月次祭が、一般の帰参者が参拝出来ず、境内地に人が居ないという異様な光景でした。更に毎年子供達が楽しみにしている、こどもおぢばがえりも中止と発表されました。

この現実を私達はどう考えたら良いのでしょうか。

ある先生のお話では、地球温暖化が収まらない中、今年になり二酸化炭素の濃度が、急激に上がりましたが、緊急事態宣言が発令され、国民の自粛によって、温暖化の数値が下がり空気が綺麗になり、国内の交通事故も例年の二割減少し、海外では、インド北部の街から、数十年ぶりにヒマラヤ山脈が見られたそうです。又、水の都ベネチアでは、一気に水路の水が綺麗になったそうです。

私達信仰をしている者は、この地球は「親神様の身体」

と聞かされております。この地球が限界に近づいていて、コロナウイルスを通して、地球、又その資源を大事にする事を、教えてくれているのかもしれない。

では、今、私達には何が出来るのか。親神様からお借りしている、全ての物に感謝をする事。そして、コロナウイルス終息のお願い勤めの際、内統領先生は、「一人一人が

おつとめを勤めて、世界の収まりを一身に祈願すると共に、周囲にも心を配り、身近なお助けを心がけて、親の思召にかなう日々を通らせて頂きましょう。」とお話下さいました。

自分が出来る事を探し、先ずは周りの方々に喜んでもらう事が、大切ではないでしょうか。

ウイルスではなく、世界に「陽気な心」を広げましょう。

### 動 静

#### ◎出 直

▼誠綱分教会初代会長夫人・網木年子様は3月30日出直された。享年94歳。葬儀は4月1日みたまうつしが、翌2日告別式がベルコ釧路シティホールにて澤田忠和・誠陽分

教会長祭主のもと執行された。▼直轄教人・網増集談所所長・増田ノブ様は4月30日出直された。享年99歳。葬儀は5月1日みたまうつしが、翌2日告別式が網走にはら齋場にて大教会長齋主のもと執行された。

### 4月入りのご守護

○をびや許し願 (1名)

### 育英会寄付者

菅原家様 (網木年子出直) 三幣正志様 (次男小学校入学)

早川孝様 (長男小学校入学)

### 大教会4月の動き

- 3日 役員会
- 9日 役員会
- 10日 理事会
- 11日 役員会。110周年実行委員会。婦人会委員会
- 12日 月次祭。理事会。連絡会
- 16日 会長、おぢばがえり
- 17日 五季御礼
- 18日 教祖誕生祭遙拝
- 23日 詰所23会
- 25日 みかぐらうた、おてふり勉強会
- 26日 本部月次祭遙拝
- 29日 役員会
- 30日 みそか会